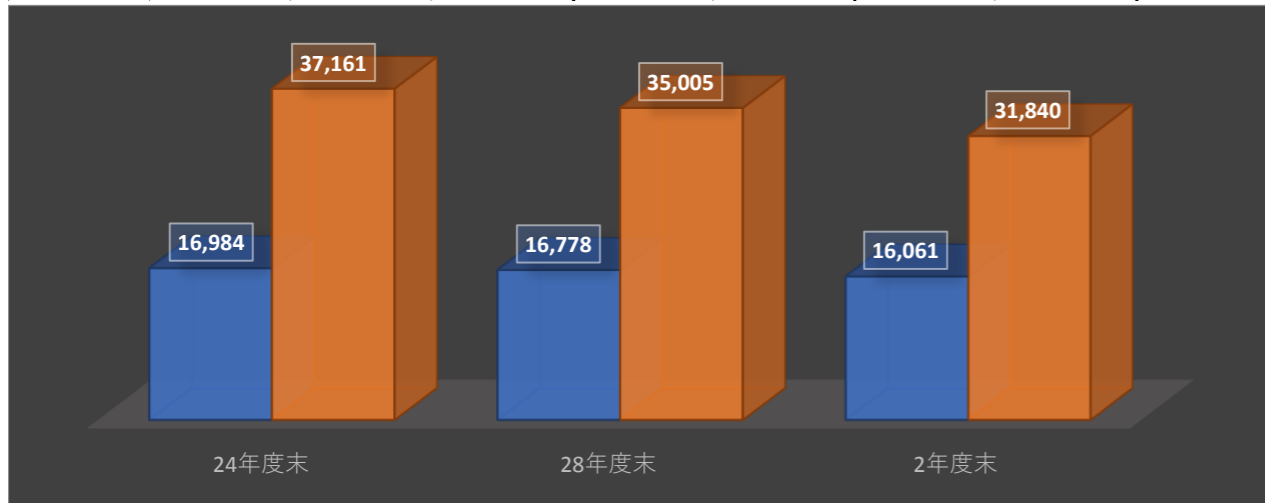


1. 人口統計

	世帯数	人口	0~14		15~64		65以上	
			男	女	男	女	男	女
24年度末	16,984	37,161	2,021	1,965	10,451	9,950	5,129	7,645
28年度末	16,778	35,005	1,732	1,753	9,622	8,889	5,256	7,753
2年度末	16,061	31,840	1,449	1,466	8,419	7,785	5,250	7,471
計画初年度からの推移	▲ 923	▲ 5,321	▲ 572	▲ 499	▲ 2,032	▲ 2,165	121	▲ 174



- ※世帯で約1,000世帯、5,400名が計画当初から人口が減少している。
- ※全国的な少子化に伴い、14歳以下の人口が男女合わせて約1,000名減少。
- ※稼働年齢層の15歳以上64歳未満では、約4,000名の減少。
- ※高齢化に伴い、10年前とほぼ変動無く推移しており典型的な少子高齢化現象。

3. 主なスポーツ事業の動向

	H24	H28	R31	
健康マラソン参加者数	460人	463人	335人	人口減、特に少子化に伴い参加者数は減少傾向にあるが歴史ある大会で今後も継続。
スポーツチャンバラ参加者数	106人	77人	0人	スポチャン道場の消滅及び、RWC2019地元開催の影響によりスポチャン人口減。
スポーツ推進委員派遣	664人	1296人	291人	年によって浮き沈みはあるが、地域・学校・PTA等から一定の利用があり評価は出来る。出前講座のメニューとして継続的に実施。
	80人	53人	28人	
	8.3回	18.0回	11.0回	
ラグビィグドリーム事業開催数	1回	1回	1回	SWとの関係性を保ち定期的に開催できており今後も事業継続予定。内容再検討必要。
アスレチックトレーナー講習会	18人	0人	0人	ここ数年実施はしていないが、競技スポーツのサポート事業として検討。
	3回	0回	0回	
仙人マラソン参加者数	1,105人	810人	485人	他大会日と重複有、参加者数は減ったが交流人口の創出の一役を担っている。
釜石トライアスロン参加者数	100人		100人	当市のスポーツイベントとして定着。今後も継続。事務局の高齢化が課題。
潮騒ウォーク参加者数	151人		123人	協会が主体の事業。連携が強くリピーター率も高く今後も継続的に実施。
朝日町ビーチボール参加回数	1回	1回	1回	定番化。
東海市交流事業実施回数	1回	1回	1回	定番化。
健康づくり復興コミュ事業				スポーツのみならず、健康・安心・安全の柱から、高齢介護課と連携し事業の継続。
復興「ありがとう」ホストタウン事業				単発事業。
オープンウォーター参加者数			200人	国体後の新たな事業。実施主体の協会のサポートを継続。
弓道大会参加者数			211人	協会が主体の事業。インターハイ選出もあり継続的に実施。

2. 計画内各目標値

協議 資料2

	平成24年度末		平成28年度末		R2	
	目標値	実数	目標値	実数	目標値	実数
市民一人あたりスポーツ施設利用回数	6.6回	4.1回	6.8回	7.6回	7.0回	4.6回
スポーツ推進委員数	27人	27人	27人	27人	27人	22人
生涯スポーツ普及員数	6人	4人	12人	4人	24人	4人
スポーツ競技団体数	37協会	37協会	37協会	37協会	35協会	38協会
スポーツ少年団数	32団	28団	32団	25団	32団	21団
スポーツ少年団員数	676人	508人	672人	442人	651人	421人

①施設利用回数について

- ※H24~H28はスポーツ推進課の事業であった学校開放事業無含む実績
- ※H29からは学校開放事業は教育委員会事業にスライドしたため、実績に含んでいない。
- ※H29からはスポーツ施設のみ（交流C文化施設、各昭和園クラブハウスは含まず）
- ※うのスタはH30から。市民体育館はR1から実績カウント。

②スポーツ推進委員においては、新たな人材発掘には至っていない。

③生涯スポーツ普及員は、健康づくり復興コミュ事業の4名をカウント。